

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	図書館運営事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	齊藤 深雪
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分	(1)生涯学習の推進		
(市民意識調査結果)		<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域	<input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域	<input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例 】			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款10項5目3細目2】			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	今日の図書館においては、多様化、高度化する市民の学習ニーズに対応できる図書資料の整備が求められていることから、各図書館の蔵書及びその構成、システム等の専門知識を備えた公共図書館としてサービスを提供する必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	図書館利用者、団体、図書館
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	窓口サービスを向上させ、利用者ニーズにあった図書資料を計画的に収集することで、蔵書の充実を図り、より多くの方に利用してもらう。

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度											
	【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】											
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】											
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】											
事務事業の具体的内容 【14】	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務をととして図書館運営の充実を図る。 ・利用者のニーズにあった図書資料を収集して計画的に蔵書の充実を図る。 ・市民のニーズにあった図書備品の購入。 ・寄付金を活用して図書資料(児童書)の充実を図る。 ・図書館の利用拡大及び読書推進を図るための運営や管理を行うために、協議会に対し館長が諮問し、図書館方針について、いただいた意見を反映する。 											
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">事務事業を構成する細事業【15】</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>図書館窓口業務</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>図書館資料整備事業</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>図書備品事業</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>ふるさと寄付金活用図書館資料整備事業</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>図書館協議会運営事業</td> </tr> </table>	事務事業を構成する細事業【15】		①	図書館窓口業務	②	図書館資料整備事業	③	図書備品事業	④	ふるさと寄付金活用図書館資料整備事業	⑤
事務事業を構成する細事業【15】												
①	図書館窓口業務											
②	図書館資料整備事業											
③	図書備品事業											
④	ふるさと寄付金活用図書館資料整備事業											
⑤	図書館協議会運営事業											

《事務事業実施に係るコスト》

			H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	%					
		県支出金	%					
		起債	%					
		受益者負担						
		その他						
		一般財源		49,568	50,468	52,384	52,573	
	【16】 小計		49,568	50,468	52,384	52,573	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			1,208	1,208	1,208	1,208	
	職人件費	職員人工数		0.30	0.30	0.30	0.30	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,610	5,424	5,424	5,424	
【17】 小計			1,683	1,627	1,627	1,627		
合計			51,251	52,095	54,011	54,200		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 図書館窓口業務	委託業者により貸出・返却などの窓口業務を行う。	図書館(3館)の平均開館日数	日	285	289	290	290
② 図書館資料整備事業	収集方針に基づき購入図書を選定や発注を行う。	年間購入冊数	冊	9,251	9,375	9,449	9,800
③ 図書備品事業	市民のニーズを踏まえた本や本棚の購入を行う。	年間購入冊数及び備品類購入件数	冊 件	21 4	11 9	16 5	25 8
④ ふるさと寄付金活用図書館資料整備事業	寄付金により図書資料を購入する。	年間購入冊数	冊	266	154	317	267
⑤ 図書館協議会運営事業	図書館方針について諮問するため協議会を開催する。	協議会開催回数	回	2	2	2	2

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 利用者一人当たり図書貸出冊数	利用者一人当たりの図書貸出冊数	冊	6.0	6.0	6.0	5.5
			5.2	5.2	5.1	
2 図書カード登録者数	図書カードの累計登録者数	人	29,000	30,000	32,000	33,000
			29,735	30,790	31,690	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業を廃止すれば、計画的な資料の収集や蔵書の充実が図られず、文化的教養が高められない。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	カウンターでのリクエスト、Web上からのリクエストを元に市民のニーズを把握して選書する。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	カウンターでのリクエスト、Web上からのリクエストを元に市民ニーズにあった選書を行ない、特に文化、教養、研究、ビジネス、趣味等に資する資料の充実に努める。また窓口業務の委託業者職員の選書に関する情報収集や配架方法等の能力向上や、図書情報を記載するポップの工夫等について、委託業者とともに検討していく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	利用者が求める資料の収集等に努め、今後もニーズに応えられるよう継続して事業を進めていく。	評価責任者 坂本 政輝
------------------	--	----------------